

ほっとなみ 認知症ケアパス

※赤字はレビ-小体型認知症の症状です

認知症の進行に応じた変化		初 期		中 期		後 期	
	健康	認知症の疑い	認知症ではあるが日常生活は自立	誰かの見守りがあれば日常生活は自立	日常生活に手助けが必要	常に介護が必要	
生活上の変化	[軽度認知障害(MCI)]	・物忘れ ・同じことを言う ・物がなくなると言う ・約束や予定を忘れる	・金銭の支払いが難しくなる ・薬を飲み忘れる ・火の消し忘れ ・食事の支度が一人でできない ・自分の失敗を人のせいにする ・物とられ妄想 ・幻視 ・症状の変動 ・REM 睡眠行動異常	・お金の管理や買い物ができなくなる ・服の着方がおかしい ・電話や来客者の対応ができない ・たびたび道に迷う ・入浴を嫌がる ・否定的、攻撃的な言動がでてくる	・日にちや場所、季節がわからない ・トイレ、入浴に介助が必要 ・洋服の着方がわからない ・道に迷って帰ってこられない ・遠くに住む子供や孫が分からなくなったり、息子を夫と間違える	・言葉によるコミュニケーションが難しくなる ・トイレの失敗 ・歩行が不安定 ・言葉が出ない	・ほぼ寝たきりで意思疎通が難しい ・食事が口からほとんどとれない ・歩行困難 ・誤嚥、肺炎
			自分がおかしいかもしれないと不安になる	自分は正常だと言い張る。他人の前ではしっかりしている			
家族の気持ち		いつもと違う。歳のせいだろう。言えば出来るはず。悩みを打ち明けられない。とまどい、否定		身内の前では症状が強く出る。本人のペースに振り回されてしまう。本人の失敗も増え家族が疲れ切ってしまう、一番つらい時期		生活の全てに介助が必要。あきらめ、わりきり	受容 最期をどう迎えるか
本人がやっておきたいこと	★友人や地域とのつながりを大切にしましょう ★今までやっていたこと、出来ることは続けましょう ★外出の機会を持ちましょう ★かかりつけ医をもちましょう						
家族がやっておきたいこと		★いつもと違うと思ったら、早めに相談・受診しましょう ★認知症やその接し方、介護のことを学ぶ機会を持ちましょう ★本人の親しい友人や親戚に病気を伝えて理解してもらいましょう		★本人の話をじっくり聞きましょう ★周りの人に相談してみましょう ★家族の休息も考え、介護サービスを上手に使いましょう ★ほっとなみカフェ、相談機関など、気持ちを話せる場所を作りましょう		★家族の健康や生活を大切にしましょう ★施設の情報収集等を早めに行いましょう ★最期をどう迎えるか考えておきましょう	

相 談	地域包括支援センター(市役所・街なか) 在宅介護支援センター(やなせ苑・ケアポート庄川・砺波ふれあいの杜) 民生委員児童委員 ほっとなみカフェ ケアマネジャー 認知症地域支援推進員						
保健指導(予防)	特定健診 特定保健指導（事後指導） 後期高齢者健康診査 心の健康相談 お口の相談 健康相談・訪問指導 健康センター						
仕事・役割	シルバー人材センター 社会福祉協議会(ボランティア活動・老人クラブ)						
早期発見 診断・対応	かかりつけ医 認知症初期集中支援チーム 認知症サポート医 認知症専門医（神経内科・精神科） 認知症疾患医療センター（北陸病院）						
医療・治療 機能回復	かかりつけ医 医科・歯科訪問診療 往診 居宅療養管理指導（薬剤師） 訪問看護 リハビリ専門職 柔道整復師など						
予防	～介護予防～ ふれあいいきいきサロン・いきいき百歳体操・いっぴく体操・いきいき元気教室・予防ひろば・庄川健康プラザ					～重度化防止～ 介護保険サービス	
地域の見守り 安否確認	民生委員児童委員 自治振興会 社会福祉協議会(ケアネット・福祉サポーター・老人クラブの友愛訪問・みまもり配食サービス) 警察 見守り SOS 緊急ダイヤルシステム登録 認知症サポーター						
生活支援	ケアネット 軽度生活支援事業 みまもり配食サービス シルバー便利屋さん 介護保険外の配食サービス・家事代行 介護タクシー 介護保険サービス						
	お金の管理や財産、契約の支援（ 日常生活自立支援事業 ⇒ 成年後見制度 ）						
介護	ケアマネジャー 介護保険サービスの利用（訪問型・通所型・地域密着型・小規模多機能型など） すこやか連携ノート						
住まい	サービス付きの住まいの場（サービス付き高齢者住宅・有料老人ホームなど）						
	介護を受けられる住まいの場（グループホーム・介護老人保健施設・介護医療院・特別養護老人ホームなど）						